

委員会

産建文教

公民館棟は改装して機能を充実

12月15日に本委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

産業振興課から、町内の景況に
関し、経済状況は一部に持ち直しの
動きがみられるものの引き続き
低迷している状態にあり、今後も
デフレと相まって最近の急激な円
高傾向により、先行きが見通せない
状況にあります。雇用情勢は、
10月のハローワーク長井管内の有
効求人者数が県内で2番目に低い
状況であり、新規高卒者の就職内
定率は昨年（平成20年）同期より
20.5ポイント減少しているとの
説明を受けました。

食育基本計画の策定状況につ
いては、11月5日に第1回事務局会
を開催し、3回の策定委員会を
経て策定し、3月に議会へ説明を
するということです。委員からの「計
画作成の段階で多くの町民に関
わってもらうのが大事ではない
か」との問いによりじっくり意見
を聞くために、委員数は他町の半
分の11人ですとの答弁がありました。

教育委員会からは、中央公民館
の整備に関し教育委員会の考え
方をまとめ町長に提出された意見
書の説明を受けました。

意見書は「様々な課題・検討の
結果、パブリックコメントなどの

町民の方々のご意見をふまえ、公
民館棟はリニューアル及び機能の
充実、大ホールは取り壊しが適当
というものでした。

11月16日から運行が開始され
たスクールバスに、下校時の子ども
たちと一緒に乗車して現場調査を
しました。委員から、乗車基準に
対して保護者の方々から不公平感
が出ていること、乗車できない子
ども達の安全確保、スクールバス
の車庫をどうするかなどの課題が
出されました。



スクールバスに同乗して

特別委員会

経済対策として4戸と2戸
に分割発注して地元企業に
配慮したが、今回はなぜ一
括発注したのか」との質問
が出され、当局からは、「ま
ちづくり交付金事業を推進
するなかでの効率性から一
括発注することにした」と
の答弁がありました。

委員からは、方針があい
まいではないかとの意見が
ありました。

また、文化交流センタ
ーの管理運営については、平
成23年4月から指定管理者
制度に基づき管理してい
くとの説明がありました。

委員から、「当局はこれま
でNPOを基本として運営
するといっているが、その育
成などに努力の足跡が見ら
れない。また、指定管理者
制度で運営するにしても、
当局としての基本的考え
方がなければならぬ」と
いった意見がありました。